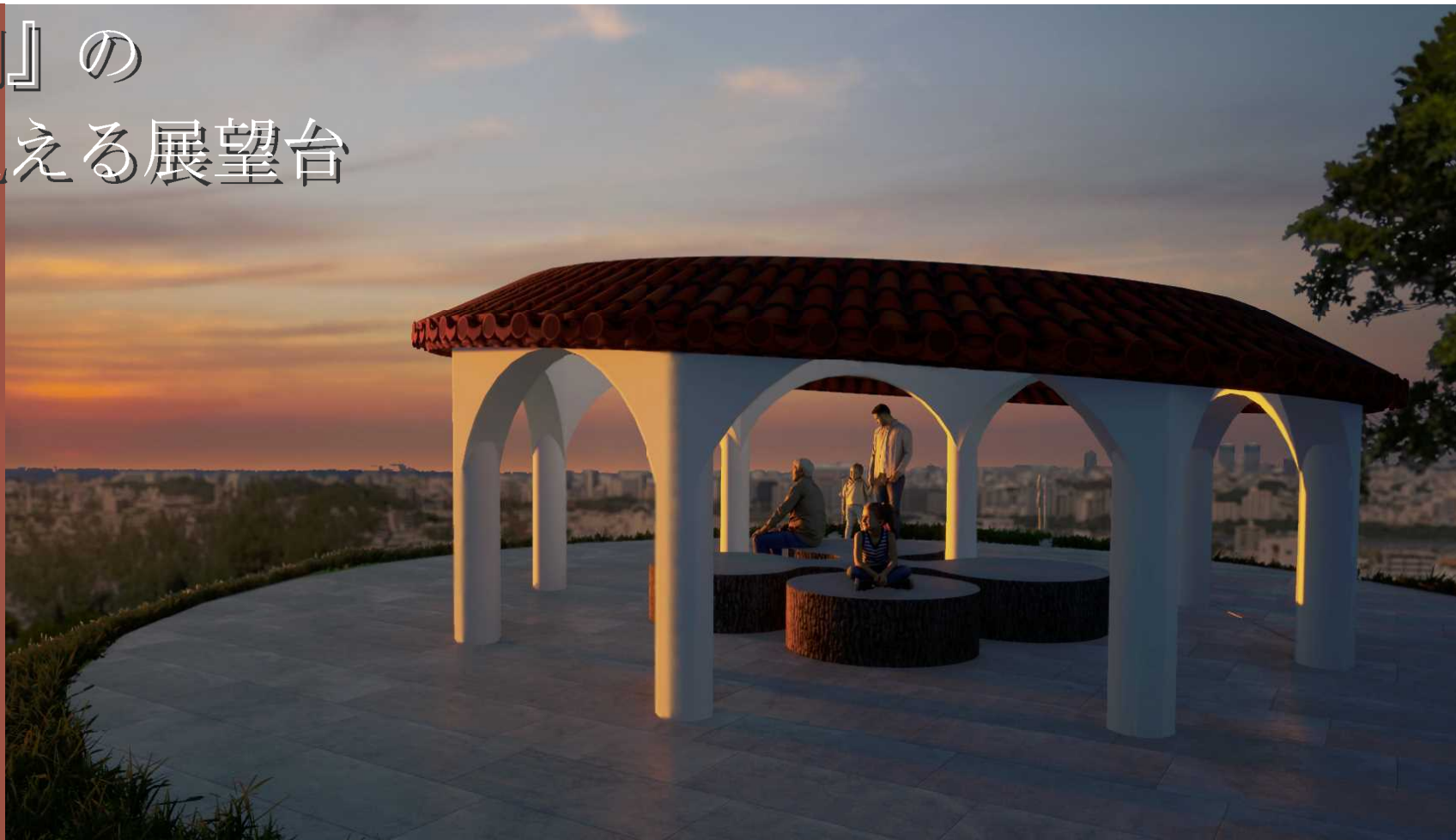


『向こう側』の 見える展望台

フレームを用いて空間を分離することで、
枠の「向こう側」がまるで別の空間のよう
に表現することができます。

こちら側に立って向こう側を見ると同じ景
色なのにフレームがあるだけで一枚の絵
画のような印象を与え、より記憶に残りや
すい景色を生み出します。

さらに、フレームがあることで各方向ごと
に切り取って認識することが可能になり、
パノラマビューでは気づかない景色の違
いを再発見することができます。



～かたちの理由～

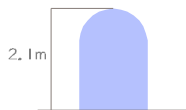
“見る方向を定めない自由性”と“見る時間によって変わる景色”

私たちはビジュアセンターで学んだ過去の壮絶な背景と、現在の平和な景色を比較しました。

そこで気づいたのが、今の平和を感じ取れる場所、散歩やジョギングで訪れた際に一息ついて落ち着
ける場所など、来る人を選ばない誰もが訪れやすい空間が必要だと思いこの建築物を計画しました。



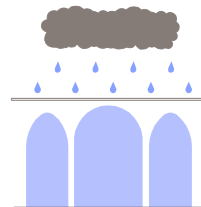
景色を楽しむ人、歴史を学ぶ人、
思いを馳せる人々が集う場所



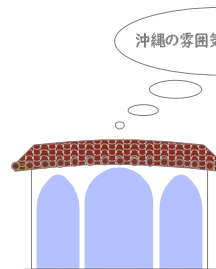
景色を印象付けるため
『2.1mのフレーム』を設ける



フレームを各方向に配置し
南部を見渡せるパノラマビューへ



屋根を設け、
雨天時でも利用可能に



屋根に赤瓦を用いて
周辺環境に馴染むデザインを

沖縄の雰囲気を感じられる!

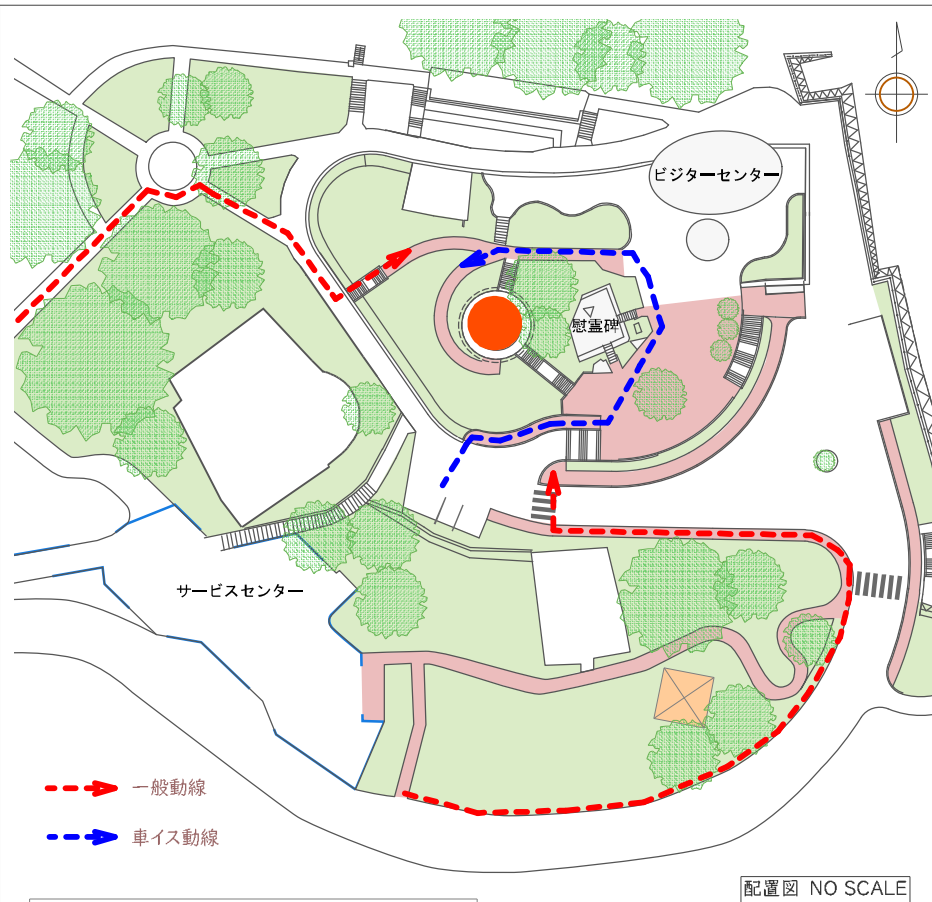


～丸い円～

上から見ると円、床も円、
円の形には欠けることも余すこともない、
途切れることもない平和のシンボルという意味があります。
そして円には禅の教えでもある円相という考えもあります。
『平和について考える・平和を感じる場所』
そんな心が静かになれる平穏な空間を作り出してくれます。

上から見ると.....





設計概要

用途：展望台	最高高さ：2.6 m
階数：平屋	建築面積：25.46㎡
構造：鉄筋コンクリート造	施工面積：94.10㎡

～周囲に配慮した建物計画～

- ・周囲に溶け込みやすくするため、敷地内の東屋と同様に赤瓦を使用します。
- ・景色を邪魔しないように開口を複数設け、パノラマビューに近い眺めを確保しました。
- ・誰が訪れても自然と利用できるシンプルな造りをデザインしました。

～バリアフリー計画～

- ・既存のスロープを利用し、入口の段差を解消したバリアフリーを計画しました。
- ・大きな開口を有した入口が複数箇所あり、余裕を持った移動が可能です。

～光のリング～

平和を象徴するモチーフとして私たちは「円」の形を採用しました。この円を利用して、雨の日でも空を見上げられるように、屋根の一部に琉球ガラスを配置します。琉球ガラスがあることで光に柔らかさが生まれ、より居心地の良い空間を計画しました。また、琉球ガラスから差し込んできた日の光が地面に映ることで光のリングが浮かび上がり、採光窓の役割を果たすとともに暖かな空間を演出してくれます。ガラスから覗くその時々空を楽しみながら穏やかな時間を過ごし、心からの平和を感じることができます。



～オリジナルチェア～

一つの円を土台とし、周囲に円を広げることで、この場所を起点とした出会い、平和を未来へ繋げていくイメージをデザインしました。



ベンチの素材は丈夫な擬木を使用し、木目で優しい雰囲気になりました。



～構造・メンテナンスについて～

- ・風害、塩害に配慮したRC造を採用します。
- ・RC造のみで構成することで異業種を少なくし、さらに県内で一般的に流通している材料を使用することで、コスト削減を図ります。
- ・耐久性のある仕上げ材を使用することで、ランニングコストを抑え、ライフサイクルコストの軽減に貢献します。

